

受理番号	受理年月日	件名及び旨	提出者	紹介議員氏名	付託委員会名	議決結果
26年第7号	26.6.4	<p>県内の動物愛護の進展に関する請願</p> <p>NPO 法人「地球生物会議 ALIVE」による行政アンケートのまとめによると、2012年度の茨城県の犬の殺処分頭数が都道府県別で全国最多であり、また8年連続で全国最多となったことが2014年3月24日付の茨城新聞にて報道された。</p> <p>以前より、このような不名誉な状況を改善すべく、県民ボランティアの方々が自費を投じて、保護活動や啓発活動を行うなど、貴いご尽力をされているが、一方では負担の重さに苦しんでいる事例も多いのが実情である。</p> <p>不幸にして殺処分される犬・猫の多くは、放し飼いなどの飼い主の不適正な飼い方に起因するものと思われる。飼い主のモラル、マナーの改善を訴えるためには、基礎自治体である市町村の役割が非常に大きく、我々市議会議員も、市町村の啓発活動のさらなる強化や市町村独自の取組みの促進を強く働きかけていかなければならないと考えているところである。</p> <p>県では、昨年度、猫の屋内飼養、災害時の備えや多頭飼養届出制度への猫の追加など、県動物の愛護及び管理に関する条例を改正し、さらには、今年度より茨城県動物指導センターで、地域猫活動等に限るなど一定の条件のもとで、飼い主のいない猫に対する不妊・去勢手術を実施するなど、その新たな取り組みについては高く評価をする。</p> <p>しかしながら、更に県内の動物愛護の進展、殺処分頭数の減少を効果的なものにするためには、動物指導センターでの不妊・去勢手術の実施体制の強化をはじめ、動物ふれあい教室など次世代への教育、条例改正をより実効性のあるものにしていくための啓発活動、動物愛護推進員や県民ボランティア等との連携強化など、様々な施策を拡充していく必要があると、動物指導センターのより一層の充実を図ることが必要と</p>	若手市議会議員の会茨城ブロック代表 佐藤 隆治 外12名	小川一成 森田悦男 常井洋治 石井邦一 神達岳志 加藤明良 宮崎勇修 中村修	保健福祉	採択

	<p>考えている。</p> <p>以上の趣旨から、地方自治法第 124 条の規定により以下請願する。</p> <p>【請願事項】</p> <p>① 県内の動物愛護の進展，殺処分頭数の減少のため，茨城県動物指導センターによる不妊・去勢手術の効果的な実施や実施頭数の拡大などを図ること。</p> <p>② 犬・猫などの適正飼養などに関する啓発活動を市町村と連携の上，より進展させること。</p>				
--	--	--	--	--	--